⑶　静岡工場の練肉機は、設備更新のため、平成28年５月に除却を予定していることから、減損の兆候が認められます。
　当該機器の使用しなくなる日における回収可能サービス価額及び減損額の見込額については、解体撤去を予定しているため「備忘価額１円」とし、帳簿価額との差額を減損額の見込額として記載しております。
⑷　彦根工場の銀行券仕上機及び銀行券印刷機は、設備更新のため、平成28年６月及び平成28年11月に除却を予定していることから、減損の兆候が認められます。
　それぞれの機器の使用しなくなる日における回収可能サービス価額及び減損額の見込額については、解体撤去を予定しているため「備忘価額１円」とし、帳簿価額との差額を減損額の見込額として記載しております。

Ⅶ　不要財産の国庫納付に関する事項

１　現物納付を行った資産

①	資産種類		土地	土地	建物 構築物 工具器具備品	土地	建物 構築物 工具器具備品
②	資産名称		静岡敷地	神宮前宿舎		神宮前第３宿舎	
③	帳簿価額	⑴取得価額	24,515,000円	949,923,000円	85,009,294円	1,160,700,000円	80,554,732円
		⑵減価償却	―円	―円	27,294,127円	―円	25,116,940円
		⑶減損損失	―円	―円	57,710,913円	―円	55,433,691円
		⑷損益外減損損失	―円	―円	―円	―円	―円
		⑸帳簿価額	24,515,000円	949,923,000円	4,254円	1,160,700,000円	4,101円
④	不要財産となった理由		保有資産の見直しを行った結果、業務の用に供する見込みがないため	国立印刷局宿舎見直し計画に基づき廃止し、自己で活用の見込みがないため		国立印刷局宿舎見直し計画に基づき廃止し、自己で活用の見込みがないため	
⑤	国庫納付等の方法		現物による国庫納付	現物による国庫納付		現物による国庫納付	
⑥	譲渡収入の額		―円	―円	―円	―円	―円
⑦	控除費用		―円	―円	―円	―円	―円
⑧	国庫納付等の額 納付等年月日	⑴国庫納付額	24,515,000円	949,923,000円	4,254円	1,160,700,000円	4,101円
		納付年月日	平成27年６月30日	平成28年３月25日		平成28年３月25日	
		⑵地方公共団体への払戻額	―円	―円	―円	―円	―円
		納付年月日	―	―	―	―	―
		⑶その他民間等への払戻額	―円	―円	―円	―円	―円
		納付年月日	―	―	―	―	―
⑨	減資額		24,515,000円	949,923,000円	84,192,144円	1,160,700,000円	80,262,270円
⑩	備考						